

広報 かがわ

第99号

編集発行

川 自 治 会
報 委 員 会
版 印 刷 所
香 廣 興

香 川 の 人 口	9,769人
男	4,855人
女	4,914人
香 川 の 世 帯 数	2,872世帯
(63.1 0.1現在)	

参加者は千五百人

第七回文化祭おわる

十一月五、六の二日間にわたり、香川自治会館、第一青少年広場を中心に、香川自治会主催の第七回文化祭が、華々しく開催されました。青く澄んだ秋空のもと、各催し物に人気が集まり、参加者はのべ千五百人に達する盛況でした。以下概略を説明します。

第一青少年広場では、商興会の福引きに長蛇の列ができガラガラと抽選機が回るたびに歓声や溜め息やらが聞かれました。祭りばやしやバトン演技もすばらしく、又自治会館では主な展示品として菊花展、手工芸展示では鎌倉彫、皮細工、盆栽、書道、陶芸、木目込人形、リボンフラワー、ちぎりえ、俳句、あみ物などの力作が陳列されました。

参加者の声

。マラソン男子の部一位の津志田喜吉さん
健康のためにマラソンをやって三年になります。もつと大勢が出場するといんだけど。



展示会場（香川自治会館）

。福引大会
香川商
興会長河
合繁美さ
ん
天氣が良
く盛況で
よかった。
でも出費
も多いん
ですよ。
皆さんに
地元のお
店をぜひ
利用して
ほしいで
すね。
。模擬店
みこし
保存会々
長
伊藤素明
さん
十二時半

。ワラ工芸
指導者の新倉栄一さん
ワラぞうりが手つとり早いのでやっているけど、皆さん一足を最後まで仕上げる時間を

とつてきてほしい。それに指導者にもつと来てもらいたい。ぞうりでも、しめ飾りでも、まず縄ないができるようにならないとね。
。ワラ工芸
指導者の柳川治郎さん
昔からやっているもので、こんなもんと思っていたんだが、関心のある人が多くてテンテコマイです。それだけにやりがいもあつて喜ばしいことと思う。ぞうりも形はできてもはけるように作るのはむずかしく、二つ目になって七〇点位。ワラ工芸以外にもやつてもらいたいと思うものがあつたら要望を出してほしい。



わら工芸（青少年広場）

で売り切れです。今年は食べ物だけでなく、ヨーヨーとか球なげもやりました。来年は楽しめるものをもつと多く企画したい。せつかくこんな広い広場があるので、他の団体ももつと参加して、イベントを増やし、ふれあい広場のようにしたらどうですか。
。ゲートボール 香川寿クラブのゲートボール部
大嶽藤一郎さん
三十六名で六組に分かれ、二回戦やります。香川、甘沼、松風台のクラブ、自治会、体育振興会の人たちが親睦だから、力を均こうに編成しました。寿クラブの人は強いですよ。最近若い世代からもあるという気運が出ています。三世代の全国大会もありますよ。練習は日曜と雨天以外は毎日午前中、第二青少年広場でやっています。どなたでもどうぞご参加ください。
。菊花展一位 亀井家治さん
十年以上やっていますが、今年には陽気が悪く苦労しました。来年のものは今から腐葉土などの準備をして、一年がかり

です。種類は、兼六白菊、国華花百合、国華大行進を出品しました。(市の菊花展でも一位に入賞されたそうです)
参加した方々
。うちの娘がバトンに出ているので見に来ました。こんなに大勢居るとは思わなかった。
。ヤキソバが安くておいしい。
。ワラぞうり作るのおもしろい。うまくできそう。
。こゝで作ったおさがりを二年飾りました。これで、来年のお正月の準備ができました。
。福引きに並んで待ったかいたが、いいものが当りましたよ。
。お人形にしても、手芸にしても手のかかっている作品です。やってみたいけど、なかなか時間がなくて。



マラソンの出発

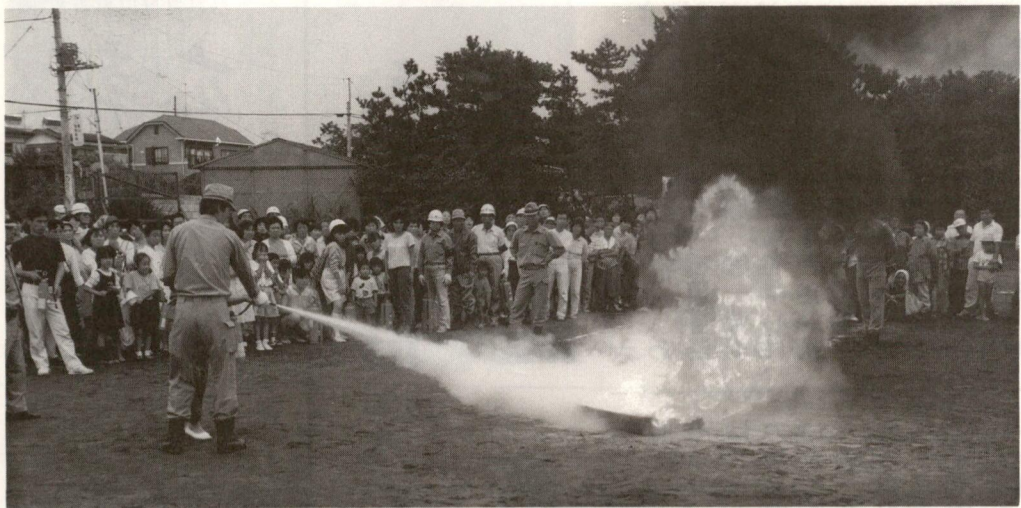
インタビューに答えてくださった方々に共通した点は、このような文化活動をとおして、ふるさと香川の人の輪をもつと拡げていきたいという意欲が感じられたことです。
来年度は今年度の盛況を土台に更に発展しもつと多くの参加者も見込まれそうです。



警戒と準備が肝要

防災避難訓練行わる

今回の防災避難訓練は去る九月十七日、今にも降り出しそうな曇り空の下、第一青少年広場に於て実施されました。各町内会ごとにそれぞれの集会所から小さい集団を作って集った参加者は約百十名ほど。消防署から七名、香川消防団から十名の他、婦人会からは



初期消防訓練では、地震が起き、何かの火が燃え上った際には、先ず、初期の一分から一分半のゆれが納まるのを待ち、次いで落着いて消火器を取り扱うこと、特にコツとしては、手前からホーキで掃くように一気に泡をかけること、の注意をうけた後、会場に運びこまれた約三十本の消火器を使い、参加者が実際に消火する訓練があり、かなりの勢いで燃え上がる火の前に、及び腰の人もいましたが、殆んどの方は手際よく消火していました。なお、家庭用消火器の場合有効期限が、中の薬品は五年容器は十年となつていますので各家庭では折

吹き出しのために十五名の協力を得て午後二時半より行われました。自治会長、消防署の方の挨拶のあと、今回は特別に
 ○ 初期消防訓練
 ○ 応急医療訓練
 ○ 情報伝達訓練 の三つに主眼が置かれました。

にふれ点検の必要がありそうです。

応急医療訓練は、三角布を使って腕や頭に負傷した場合の処置の仕方を教わり、情報伝達の訓練では、耳うち遊びのような方法を使って、一つの情報が数人を経るうちに、いかに誤報となり得るか、といった実験もありました。このような緊急時の誤報、デマを防ぐため、市ではご存知のように「防災ちがさき」の放送があります。緊急時の放送があった際には「窓を明けて聴く」「屋外で聴く」「内容を近くの人と確かめ合う」ことがだいじであるということでした。

〈学習の拠点〉

公民館工事、順調に

前号でお知らせした湘北公民館は昭和六十四年度開館にむけて、新築工事が着々と進行しています。

言うまでもなく公民館は、「地域文化の拠点」で、完成の暁には、数多くの利用が予



ことしは 移動式トイレも 登場 !!

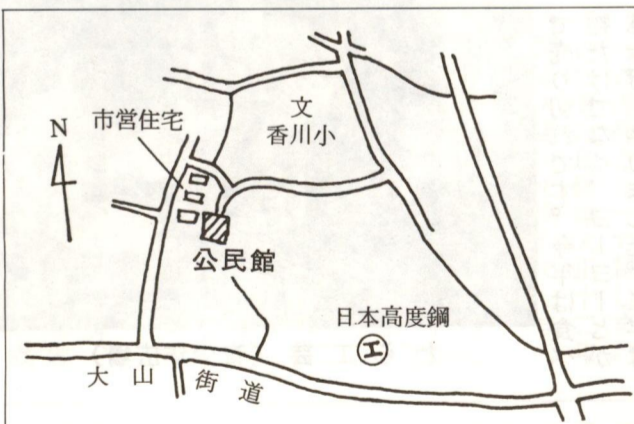
で、ごく短時間で組み立てられるように案出されたこのトイレは、丸清材木店のご協力もあつて実現したもので、又、簡単に解体もできて、自治会館内に常備されるのとことでした。

平穏な状態が長く続くと、地震や津波といった災害は、自分の地区には起らないように思いがちですが、やはり物の心の両面に於て常に警戒と準備を怠ることのないようにしたいものだと思つた。最後に、婦人会の方たちの炊き出しによるおにぎりは、訓練に少し疲れた参加者にとって嬉しいおやつになったことでした。

想されますが、単なる集会施設としての利用ではなく、もう一步進んだ使い方も考えてみたいものです。「すべての人は生まれてから死ぬまで学び続けるべきである」というのが生涯学習の基

本理念ですが、科学技術の極端に進歩した現代では、過去我々が学校で学んだ知識だけでは到底役に立たず、絶えず新しい知識、技能を注入しなければ遅れてしまうのは、コンピュータ普及等の例をあげるまでもなく衆知のことだと思つています。また、高齢化社会を迎え、真の意味で人々が豊かになる条件として、経済的豊かさより心の豊かさがより望まれるようになっていきました。そのためには、いつまでも本音で語りあえる人間関係の輪を拡大していくことも必

要です。こんな背景から長期間に亘つて願望していた公民館ができるわけですから「学習の場」「ふれあいの場」としての使い方、例えば「公民館講座に積極的に参加する」「自主サークルの学習の場」「地域文化向上のための芸術活動の場」としての使い方もとも考えてみようではありませんか。

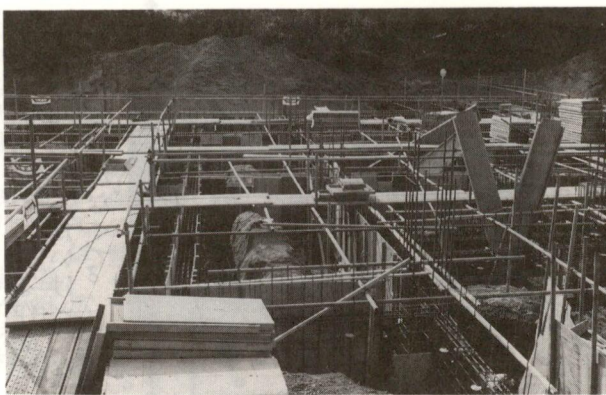


公民館の位置

工事概要

仮称 湘北公民館図書館分館建設(建築)工事
 本館 鉄筋コンクリート造2階建て延べ1,042㎡
 自転車置場 鉄骨造平家建て 20㎡
 附帯 外構工事外 1式

公民館工事の現場



第二十回

香川地区体育大会

盛大に挙行

台風の影響で一日順延となったが、雲一つない晴天に恵まれた十月十日、香川小学校校庭で、二十周年記念体育大会が盛大に開催されました。今年夏から雨降り続きで久しぶりに澄みきった青空の下、大勢の老若男女が参加して、各種競技、演技が繰り広げられました。

午前には今年体育振興会の20周年という事で、記念式典が行なわれ、市長を初めとする来賓の方々の祝辞と功労者の表彰がありました。

午後は町内対抗種目である、百足競争・二人三脚リレー・町内対抗リレーと手に汗を握る熱戦が続きました。特にフイナールを飾る町内対抗リレーは、ソウルオリンピックの再現を思わせる「香川のルイス、ジョイナー」の活躍に会場全体が興奮の渦と化しました。総合優勝は一位から三位は34点の同点と接戦の中、百足競争と二人三脚に一位を占めた第一町内会が、新調な優勝旗を獲得しました。



右も左もがんばって!!
(つなひき)

教育委員会

表彰を受賞

香川ミニバスケット
クラブ

十一月一日、茅ヶ崎市役所で行なわれた教育功労者表彰式において、香川地区ミニバスケットクラブ女子部が関東ブロック大会出場の実績を認められ表彰されました。

和紙ちぎり絵

へのお誘い

海外でも大モテのちぎり絵を始めませんか。自治会館の山口さんの育てた四季の花々を眺めながら和紙の素材で温かい雰囲気をお楽しみください!!

ご年輩の方(野菊の会) お若い方(野ばらの会)も手作りを楽しんでおります。やってみてほしいな、出来るかしらと思っている貴女、その日から素敵な作品が出来ますよ。

野菊の会、第一、三木曜日 午後一時三〇分
野ばらの会、第三水曜日 場所：香川自治会館
連絡先：TEL 51-9560 広里カナダBCジャパン フェスティバル88に参加して



左三橋ふでさん 右広里先生

よい本との出会いを

香川文庫のごあんない

お問合わせ、香川文庫のくわしい内容について、知りたい方は左記へご連絡ください。

西村 五一〜九七二五
庄司 五二〜四三三六

まれにみる激戦

かわい幼稚の宝ひろい・来賓、おとしよりの宝つりゲーム・親子参加の家族リレー等勝負を考えず参加者と応援者が共に楽しめる競技が繰り広げられました。

昼前に今年体育振興会の20周年という事で、記念式典が行なわれ、市長を初めとする来賓の方々の祝辞と功労者の表彰がありました。

午後は町内対抗種目である、百足競争・二人三脚リレー・町内対抗リレーと手に汗を握る熱戦が続きました。特にフイナールを飾る町内対抗リレーは、ソウルオリンピックの再現を思わせる「香川のルイス、ジョイナー」の活躍に会場全体が興奮の渦と化しました。総合優勝は一位から三位は34点の同点と接戦の中、百足競争と二人三脚に一位を占めた第一町内会が、新調な優勝旗を獲得しました。

おかあさまへ!!

子どもが幼い時に、良い本に出会い本が好きになることは、その子の一生にどれほど大きな慰めと、豊かな生活をもたらしてくれるか、わかりません。

かがわ文庫は設立以来十年目を迎えました。二ヶ月に一回ずつ市立図書館から五〇〇冊の本が配本され、かがわ文庫の本、大人

読みたい本のリクエストも受け付けていますので、ぜひお出かけ下さい。

踊り・唄も楽しく

第五回敬老の集い

快晴に恵まれた十月十六日柳島記念館にて香川自治会主催による敬老の集いが楽しく催された。香川の七十才以上のおとしより約百四十名がバスで会場に到着。文化厚生委員会の担当で、綿密な事前の準備により、スムーズに進められた。プログラムには、毎年ご協力いただいている、幸香愛好会、幸多香寿会、寿舞踊会による踊りが生まれ、その中には83才の方の立派な踊りも披露された。



休憩には、とび入りのカラオケ、民謡、詩吟、ダンスなど、会場からの舞台参加で賑わいを増し、最後に皆一緒になり、楽しい踊りの輪で終わった。尚、「果物、酒類のさし入

れ、金一封などのご寄付をいただき、この紙面をもってお礼を述べさせていただきます」と主催者側からの言葉です。



おとしよりの声。楽しかった。天気もいいし。とび入りがあって面白い。踊りの人は一生懸命練習したんでしょね。民謡をやっていると、好きなのでこつちも力がいはい。男の人がもつと踊りに出てほしい。お弁当は量もよく、さつぱりしていておいしかった。顔見知りの人が舞台に出ているので楽しかった。自治会長より内容的にも充実し、時間的にも良かったと思う。文化厚生委員長より参加者が多く、しかも和気あいあいと進められたことは、担当した者としてもうれしく思います。

香川の史跡シリーズ



熊沢山 浄心寺

昔は、このあたりを「七面山」と言っていた。今はほぼ平地であるが、昔は小高い丘で、七面堂が建ち、村の人たちには「七面さん」と親しまれていた。今のお年よりの方も、子供の頃七面さんのお祭りを、楽しみにして

俳句茅花会

熊沢 幸一
竹筒の水の匂ひや糸芒
友のいてふつと消えたり芒原
長島 久江
石投げて迷ひのつる秋の浜
一と笛に替る人文字天高し
碓 百合子
大西日潮のべたつく顔洗ふ
せせり蝶のはなれぬ雨の螢草
香沢 みや
主婦業をゆずりて軽き秋裕
径岐れわかれても又虫のみち
藤村 球子
巾少しつめて形見の秋裕
絵の様に蝦夷の馬立つ大花野
平塚 司郎
嫁のカレーのひりひりりと敬老日
成吉思汗鍋や色来しななかまど

ニコニコクラブをぞご存じですか

現在、老人の約5%が痴呆性老人といわれ、その介護が問題となりつつあるが、香川でも11月7日、自治会館で、市内と寒川の家族及びボランティア、ケースワーカーを招き、約50名の参加者を得てミニシンポジウムが開かれた。

痴呆性老人を抱える家族の苦勞は並大抵のものではないと思われ、その共通の悩みを語り合い、知識を求め合う集りが茅ヶ崎ニコニコクラブで、第一と第三の木曜日、農協会館の三階で毎月集りが持たれている。

当日は家族の方たちの深刻な悩みや、少しでも事態を好転させてゆく工夫やケースワ

9月6日	第三町内19組
9月19日	山口 泰子殿 58才
9月19日	第二町内1、2組
9月19日	松本 ハル殿 79才
9月26日	第四町内25組
9月26日	矢部 富雄殿 60才
9月27日	第三町内15組
10月3日	山本 明宏殿 20才
10月3日	第一町内17組
10月26日	有馬 イマ殿 81才
10月26日	第四町内38、6組
新倉 一郎殿 83才	

謹んでお悔み申し上げます。

いたとの事である。七面様の布教の範囲は、周辺の西久保大曲、円蔵はもとより、遠くは厚木、伊勢原、それに高座郡一带に信仰が広がっていたそうである。

浄心寺の本堂にかかっている額は、昭和二十九年、墓地改造の時に書かれたものである。「墓地由来」と題して、七面天女様の絵と共に浄心寺の今までの経過が松の巨木の一片に記されている。

「この地古くより皇太神宮を祀り在りし故、伊勢山と称し鳥居の在る所以なり。文祿四年九月浄心院日教という僧の開山に依る浄心庵を建立せる頃、甲州武田氏の幕僚、矢畑に來り住みし一族のうち、熊沢準人元屋敷に在住、十三軒の基と成す。当時は萩園常

頭寺の檀家なり。(略)：文久元年七面堂を再建せる他、布教近郷に及び、信徒の中心的存在となりたり。略：「お伊勢さん」で親しまれていた頃の鳥居は大正十二年の関東大震災で倒れてしまったそうである。

山号は熊沢山、寺号は浄心寺で、戦後に浄心庵から浄心寺と改められている。現在、浄心寺で着実な活動を続けられている院代の金子智研氏に、本堂に案内していただき、正面にご本尊の日蓮上人像、左に七面様が祀られてあり、壁には墓地由来の額が飾つてある。

本堂の裏には、古い墓碑、浄心寺の碑、飯田九一の句碑などがあり、又江戸時代の義人、三橋勘重郎の供養碑も、



門を入った左側に建っている。(勘重郎については、広報かがわ97号に掲載) 道祖神が、寺の少し前にあり、昔から村の辻になっていたのであろう。又、寺の西を少し上った森には、小出川にかかる聖天橋の名の由来となった聖天様が祀つてあったという。